



環境保全米通信



環境保全米が食べられる店「東松庵」のJAPAN Xポークステーキランチ

- 【もくじ】
- 1.環境保全米学校給食100%を目指して 赤とんぼセミナー 仙台で開催
 - 2.仙台白百合女子大学で「環境保全米おにぎり」のサンプリングを実施!
 - 3.環境保全米が買える店・食べられる店 石巻・東松島編
 - 4.第10回「オリザ賞」の募集を開始しました!
 - 5.環境保全米通信読者アンケートから



『みやぎの環境保全米』とは

宮城の自然豊かな環境を守るために、農薬・化学肥料を県の標準的使用量の半分に減らし、自然と人間の力を合わせて生産されたお米です。

みやぎの「環境保全米」の取り組みは1992年のリオデジャネイロ地球環境サミットをきっかけに始まっており、SDGs (持続可能な開発目標) の実践そのものです。

バックナンバーもご覧下さい。



(JA宮城中央会のHPにリンク)



アンケート応募でお米プレゼント!
詳細は最終面

1. 環境保全米学校給食100%を目指して 「赤とんぼセミナー」仙台で開催

「学校給食による環境保全米の使用と食育の推進」をテーマに、NPO法人環境保全米ネットワーク主催の「赤とんぼセミナー」が2月27日、仙台市青葉区の仙台市民活動サポートセンターで開催されました。

NPOの会員や市民ら約20人が参加。農薬と化学肥料を通常の半分以下に減らして栽培した環境保全米を使う学校給食の拡大について、関係者がパネルディスカッションを行いました。栽培拡大に向けた産地の動きなどが報告され、宮城県内での環境保全米給食の100%実現を目指していくことを確認しました。

パネラー



【宮城県学校給食会理事長・大沼博之さん】

宮城県学校給食会は県内35市町村のうち、32市町村（令和6年2月27日現在）にご飯やお米を届けています。環境保全米の利用は令和2年度に始まり、現在、地元のJAから提供を受ける約2000トンのうち1800トンが環境保全米になっています。子どもたちの未来のために、環境保全米100%の給食が実現できることを期待します。

パネラー



【仙台市立栗生小学校栄養教諭（当時）・越後久美子さん】

給食は学びの一環。栗生小学校では、社会科や総合的な学習、家庭科などいろんな教科を組み合わせでお米について考え、環境保全米を作る農家の工夫や苦労を想像しながら学習しています。食べているものの価値を知り、これからの食べ方に生かしていく。先生、保護者を巻き込みながら学んでいくことが大切です。

パネラー



【環境保全米ネットワーク理事長・高橋芳道さん】

環境保全米100%の給食実現には、仙台市内での栽培拡大が欠かせません。JA仙台は今年、栽培方式などの工夫で生産者が取り組みやすくする方針です。子や孫にちゃんとしたものを食べさせたい。環境保全米100%の提供に向けて頑張るとともに、全国に誇れる宮城の取り組みを多くの人に知ってほしいですね。

コーディネーター



【仙台白百合女子大学准教授（当時）・氏家幸子さん】

宮城県内では多賀城市が全国に先駆けて学校給食にササニシキを導入、地元の良質米を使う取り組みが拡大し、令和2年度から環境保全米の提供が始まりました。環境保全米給食100%まであと一歩。宮城の取り組みが子どもたちに浸透し、環境保全米の素晴らしさへの理解が広まるよう、一人一人が発信していきましょう。

2. 仙台白百合女子大学で「環境保全米おにぎり」のサンプリングを実施!

JAグループ宮城は、大学生の食と健康を応援し、みやぎ米をもっと食べてもらおうと4月23日に仙台市泉区の仙台白百合女子大学で「環境保全米」のひとめぼれを使ったサケ、昆布、梅のおにぎり約300個を配りました。

この取り組みは、本通信の春号(2024年3月発行)で取り上げた仙台白百合女子大学の健康栄養学科が行った若者のお米に関する意識調査で、「農薬節減などによる環境の保全が大切である意識は持っているものの、みやぎの環境保全米のような実際の取り組みについては知らない人が多い」との調査結果を受けて実施いたしました。

おにぎりをもらった学生たちは、「こうやってもらえると、朝ごはんを食べようと思えるので嬉しいです」、「朝いつもパンです。新鮮です。あまり食べないので」、「宮城のお米を食べて、管理栄養士を目指したい」などと話していました。

また、同校の加藤美紀学長は「これをきっかけに、学生たちに健康と環境保全についてより関心を高めてもらいたい」と期待していました。



「環境保全米ひとめぼれ」のおにぎりを手に取る学生



おにぎりを頬張る学生



配布した3種類のおにぎり

3. 環境保全米が買える店・食べられる店 石巻・東松島編

「東松庵」は平成25年3月東松島市に開業。「お客様にゆっくりと食事を楽しんでいただき、ご満足いただけるお料理を提供できるように心がけています。職人が厳しい目で選んだ食材は、それぞれの素材の旨味を最大限引き出す料理法を工夫しております」と料理長。美味しい料理を引き立てるのは、JAいしのまき管内で生産された環境保全米ひとめぼれ。大切な人との食事、家族との思い出作り、企業向けの懇親会と幅広いシーンでご利用いただけます。仕出しやお弁当配達にも対応しています。



JAいしのまきの環境保全米を使用した和風折り詰め特製弁当

〈取材協力〉JAいしのまき



お店外観

SHOP INFORMATION

味の金魂 東松庵
〒981-0501 東松島市赤井字関の内 4-373-2
TEL0225-98-5922 FAX0225-98-5923
ホームページ <http://www.ajinokincon.co.jp>
営業時間：昼の部 11:00～14:00
夜の部 17:00～21:00

※三陸自動車道石巻港ICから広域農道を矢本方面へ。
大きな看板とピンク色の建物が目印です。



店舗情報



地図情報

JAいしのまきの環境保全米は、右記の農産物直売所で購入できます。

〈JAいしのまき農産物直売所〉
やもと四季菜館大塩店 東松島市大塩字南 21-1 0225-82-2168
ふれあいいちば菜花 石巻市中里五丁目 1-12 0225-23-5401
やさいっ娘 石巻市和渕字三工区北 194-3 0225-72-2233

4. 第10回「オリザ賞」の募集を開始しました!

JA宮城中央会は、本県の基幹作物である「コメ」を通じて、農業振興・地域活性化に貢献している個人・団体を表彰する「オリザ賞」の募集を始めました。

オリザ賞は、JAグループが河北新報社創刊100周年記念事業「オリザの環(わ)」の企画に賛同し平成9年度に創設したものです。

応募資格は、宮城県内で稲作経営を行っている個人・団体で、コメを介して地域住民・消費者等

との交流等を通じ、農村・地域の活性化に貢献している個人及び団体です。

自薦、他薦を問いませんので、所定の応募用紙に必要事項を記入の上、県内JAを窓口として、事務局(JA宮城中央会)宛にご応募ください。応募締切は8月30日(金)必着。

大賞は1点(副賞30万円)、準大賞は2点(副賞10万円)を贈呈。

※「オリザ」はラテン語で「稲」の学名



2024環境保全米通信春号のアンケートにご意見をお寄せいただきありがとうございました。

5. 環境保全米通信読者アンケートから



Q1 興味を持った記事は?その理由も。 Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。

Q1 「赤とんぼ食堂開催 約20人が環境保全米を食べ比べ」
銘柄ごとに宮城米の米粒形状や、食感に特徴があり長粒形、もっちり、さっぱりと味や香りにそれぞれの良さがあり楽しそうです。こうして白米だけをしみじみ味わう事って贅沢で素敵なひとときだと思います。

Q2 ご贈答用、ギフト専用、各種銘柄の「みやぎ環境保全米ギフト食べ比べセット」があると、PRIになり、販路・生産拡大になると思いました。
(仙台市・40代女性)

Q1 「若者のお米への関心 女子大学生の意識調査から」
お米に関心がない人が多いことに驚きました。巷では美味しいパン屋さんが沢山できて、それはそれで良いのですが、若者にもっとお米を食べしてほしいと思います。

Q2 お米を美味しくいただけるお店の紹介してほしいです。
(仙台市・40代男性)

Q1 「若者のお米への関心 女子大学生の意識調査から」
食べているお米の銘柄が分からないという人の割合が一番高くて、4割もいることに驚きました。

Q2 銘柄ごとに合う簡単な料理を取り上げてほしいです。
(利府町・10代男性)

Q1 「若者のお米への関心 女子大学生の意識調査から」
お米を親御さんが購入していたり、外食で提供されている銘柄が不明などの理由で食べているお米の銘柄が分からないという方々が40%になっているでしょう。お米の関心が薄いようにも感じられてちょっと不安です・・・。

Q2 田んぼの環境別の環境保全米の生産について気になります。また、環境保全米の生き物調査がどう変化してゆくのか気になるので、その後も取り上げてほしいと思います。
(仙台市・50代女性)

アンケートコーナーが新しくなりました。

Webフォームからアンケートを送れるようになりました。スマホ、PCからラクラク入力! 右側のQRコードを読み取るとジャンプします。



ご感想をお寄せください

アンケートをお寄せいただいた方には抽選で、環境保全米2キログラムを10名様にプレゼント!



Q1 興味を持った記事は?その理由も。

【アンケート記入例】

Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。

●応募方法/次の項目をご記入の上、FAX・メール・郵送で応募先までお送りください。

●アンケートの回答 ●お名前 ●年齢 ●ご職業 ●ご住所 ●電話(FAX)番号

いただいた回答および個人情報は当法人にて厳重に管理しプレゼントの発送、または各種情報の提供、イベントの案内以外の目的では使用いたしません。

●応募締切/2024年7月31日(水)消印有効 ※抽選結果は発送をもってかえさせていただきます。

●応募先/NPO法人環境保全米ネットワーク事務局

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-16-3 JAビル別館5F

TEL:022-261-7348 FAX:022-261-7488

E-mail:okome@epfnetwork.org URL:http://www.epfnetwork.org/okome/

●アンケートの回答

Q1 _____

Q2 _____

●名前 保全米 太郎

●年齢 40才

●職業 会社員

●住所

〒980-0011

宮城県仙台市青葉区

上杉1-16-3

●電話番号

022-261-7348

発行:みやぎの環境保全米県民会議 編集協力:NPO法人環境保全米ネットワーク

事務局:宮城県農業協同組合中央会 仙台市青葉区上杉1-2-16 TEL:022-264-8247 FAX:022-264-8239